

新規アルツハイマー病治療薬：ドナネマブ(ケサンラ®)発売 にあたって

川崎医科大学附属病院における脳神経センターものわすれ外来での実施について

川崎医科大学附属病院では、この度発売された新規アルツハイマー病治療薬ドナネマブの使用について検査から治療後の対応まで全て当院で適正に使用できるよう、準備を整えています。ドナネマブはアルツハイマー病の進行を抑制することが示された点滴治療薬ですが、希望されるすべての患者さんに使用できる治療薬ではなく、厚生労働省の「最適使用推進ガイドライン・ドナネマブ」にのっとり、詳細な検査と正確な診断、病状や副作用について患者さんや介護者の方の注意深い観察、密な定期通院が必要となります。

ドナネマブ治療を希望される患者さんの受診予約から薬剤投与までの流れについて示します。

1. 予約から受診まで

当院ものわすれ外来は予約制です。まずは電話にて予約(紹介状をお持ちの方は086-462-1111、お持ちでない方は086-464-1548)ください。正確な診断と治療可否の判断にはこれまでの生活歴、治療歴などが重要ですので、初診時にはかかりつけ医からの紹介状・診療情報提供書を持参ください。ものわすれ外来は月曜日・火曜日の午後に行っています。

*初診日は医師の診察のみでなく医療ソーシャルワーカーによる面談とご家族からの生活状況などの聴取、心理士による認知症のスクリーニングテストがありますので時間がかかります。

2. 各種検査について

まずは認知症の原因疾患を診断するために、通常行っている頭部MRI、脳血流SPECTや脳波検査、血液検査、心電図検査を行います。

3. 結果説明と治療法について

診察結果、各種検査結果からできるだけ正確な診断名をお伝えします。ドナネマブの投与対象はアルツハイマー病による軽度認知障害(MCI)および軽度の認知症に限定されています。ドナネマブ治療をご希望の場合は、下記追加検査を行い、治療適応を検討する必要があります。ドナネマブ治療対象外となる場合は、通常の診療とコリンエステラーゼ阻害薬などの治療薬や介護保険制度を利用したサービス利用について説明させていただきます。

4. 追加検査について

ドナネマブの治療を行うためには脳内にアミロイドβが蓄積していることを確認する必要があります。検査法は、髄液検査とアミロイドPET検査の2つがありますが、当院ではどちらも実施可能です。

5. ドナネマブ投与について

治療適応があると判断し、投与を希望される場合は、脳神経センターものわすれ外来での1回 700 mg を 4 週間隔で3回、その後は1回 1400 mg を4週間隔で、少なくとも 30 分かけて点滴治療を行います。投与開始後数か月は脳浮腫や脳出血などの副反応が生じる可能性が高いため、2回目の投与前、3回目の投与前、増量前(通常 4 回目の投与前)及び7回目の投与前、以降6か月に1回、MRI 検査を行います。病状によっては入院治療を要することもあります。投与期間は原則 18 カ月ですが、12 カ月後にアミロイド PET 検査を実施し、脳内の A β プラークの除去が確認されれば投与は完了となります。

以上が大まかな流れとなりますが、詳細については認知症疾患医療センター(TEL 086-464-0661)または脳神経センター外来までお問い合わせください。Youtube チャンネル([川崎医科大学附属病院認知症疾患医療センター - YouTube](#))にて動画を掲載しています。